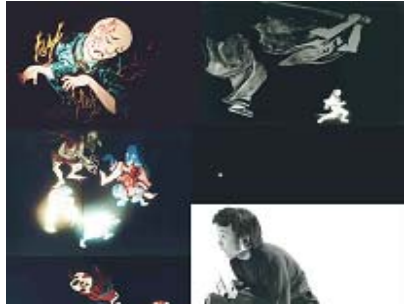



オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査  
文化を通じた機運醸成試行プロジェクト 二次採択案件概要(20件)

**[分野: 伝統芸能・工芸]**

- 
- ① 実施団体: 公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座  
プロジェクト名: “江戸の粋”夏の風物詩復活！  
「江戸写し絵」で船遊び（仮称）  
実施時期: 2017年8月1日～10月15日  
場 所: 隅田川、江東区水系、江戸東京博物館、  
江東区深川江戸資料館、江東区船番所資料館、立教大学旧江戸川乱歩邸(大衆文化研究センター)  
プロジェクトタイプ: 多言語対応  
概 要: 江戸時代後期から明治初期まで行っていた夏の江戸風物詩「江戸写し絵」の古典演目の約150年ぶりの復活上演と、普及のための展示・講演会・体験会(参加者による作品制作)を英訳付きで実施する。多言語の紹介パンフレットも制作・配布。9月中旬以降に船上での復活上演を実施。船上のみでの上演は観劇者数が限られるため、川岸からも観劇できるようにし、映像中継も行なうなど多くの人が観賞できるようにする。2020年に向けた文化による機運醸成を促進する。
- 
- 

- ② 実施団体: 一般社団法人 日本花火推進協力会  
プロジェクト名: 東京オリンピック・パラリンピック  
HANABI Fes. 2020  
実施時期: 2017年8月19日  
場 所: 二子玉川緑地運動場・川崎市高津区瀬田・  
諏訪二丁目 北見方二丁目先  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
概 要: 東京オリンピック・パラリンピック大会の開閉会式と連動する花火イベント「HANABI Fes. 2020」を企画。本試行プロジェクトでは、名人花火師の指導のもと障がい者がデザインした花火を製作・打ち上げ、会場で花火を観覧していただくことを計画。障がい者の方々の来場と観覧の安全を確保できるエリアを設置。花火情報を日本語・英語で制作し当会のウェブサイトに掲載。課題を明確化し、「HANABI Fes.2020」の実現に向けたロードマップを策定する。
- 
-

- ③ 実施団体: 公益財団法人金剛能楽堂財団  
プロジェクト名: 夕暮れに屋外で愉しむフェス的感覚の能公演 @伏見稲荷大社  
実施時期: 2017年9月8日  
場 所: 京都伏見稲荷大社内・神楽殿／伏見エリア  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・国際基準化対応



概 要: 京都伏見稲荷大社の夕暮れ時の舞殿(神楽殿)を活用し、伏見の地酒を嗜みながら日本が誇る美意識「幽玄」に没入する能のフェスイベント「夕暮れ能舞台」を実施。イベントを通じて海外観光客に対応した演目の見せ方や運営手法を検証し、新しい観劇スタイルの構築に活かす。2020年に向けて、京都の他の寺社仏閣にも舞殿の活用を促し、同時に、日本舞踊・落語・雅楽・歌舞伎などその他の舞台芸術の演じ手を巻き込み、公演スタイルを実験・洗練化させていく。

- ④ 実施団体: 公益財団法人 日本相撲協会  
プロジェクト名: 平成29年度 大相撲beyond2020場所  
実施時期: 2017年10月4日  
場 所: 両国国技館  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応



概 要: 昨年度は主に視覚・聴覚障害者、外国人対象の花相撲を開催した。今回は、英語版ホームページの充実を図り、手話通訳やモニター位置の改善や磁気ループ設定改善など、昨年度に得られた課題を踏まえた改善対応をすると共に、新たな試みとして、土俵周りの溜席エリアに車椅子席を設ける。このような取組みを続けていくことで得た課題や成果を踏まえて改善を行い、2020年には「大相撲オリンピック・パラリンピック場所」を開催。国際性・多様性を意識した画期的なイベントとして国内外に発信ができるようにする。

- ⑤ 実施団体: 松竹株式会社  
プロジェクト名: 歌舞伎を中心とした伝統文化の展示 体験イベント実施プロジェクト  
実施時期: 2017年11月中旬～12月下旬  
場 所: 京都  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・国際基準化対応



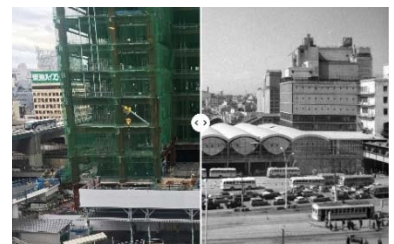
概 要: 京の師走の風物詩である歌舞伎「吉例顔見世興行」の取組と連動し、歌舞伎の衣裳・小道具・和楽器を展示する「歌舞伎を支える伝統工芸と京の顔見世展(仮称)」を実施。主な展示等には最大12か国語の多言語対応を行う。同時に歌舞伎を支える裏方や伝統工芸職人によるワークショップなどの体験イベントも実施。海外に向けた情報発信を充実させ、日本の文化を発信しながら東京オリンピック・パラリンピック大会成功に向けた京都全体の機運醸成に繋げる。

- 
- ⑥ 実施団体: 一般社団法人  
ダイアログ・ジャパン・ソサエティ
- プロジェクト名: ダイアログ・イン・ザ・ダーク  
show case for 2020 Tokyo  
暗闇で楽しむ日本文化と伝統工芸
- 実施時期: 2018年1月11日～15日
- 場 所: 東京都23区内
- プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応
- 概 要: 参加者は各回8名のグループで、視覚障害者の案内人(アテンド)と共に、書き初め・茶道体験・伝統工芸品である漆器での喫茶・和菓子などを完全な暗闇で体験。英語で暗闇体験できる枠を設定。展示やパンフレットは英語併記に対応。聴覚障害者、視覚障害者、車イス利用の方が参加できるサポート体制を準備。暗闇体験と並行して視覚障害者を交えたトークイベントを実施し、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて日本国内におけるダイバーシティとインクルージョンの実現に向けた具体的な取り組みについてもメッセージ発信する。
- 



[分野:現代アート・現代パフォーミングアート]

- 
- ⑦ 実施団体: TOKYO 1964 VR PROJECT 実行委員会
- プロジェクト名: TOKYO 1964 VR PROJECT
- 実施時期: 2017年7月～2018年1月
- 場 所: 東京都中心市街地  
(当初は渋谷を中心に展開予定)
- プロジェクトタイプ: 多言語対応
- 概 要: 1964年当時の東京の風景を最新のデジタルテクノロジーにより3次元モデル化、VR体験できるコンテンツを制作・公開。VRコンテンツの提供ともに多言語表示に対応し、海外向けにコンテンツ提供を行う。TVメディアの海外向け番組での情報発信などを通じて、訪日観光客の興味喚起、日本の最新デジタル表現への注目、並びに東京の街の変遷と発展への注目を通じた2020年オリンピック・パラリンピックへの海外での関心の喚起を促進する。
- 



- ⑧ 実施団体: 株式会社デザイナーナート  
 プロジェクト名: DESIGNARTが発信する世界一クリエイティブな街ー東京エリアの回遊性を高めるサービス試行プロジェクト  
 実施時期: 2017年8月～11月15日  
 場 所: 東京  
 プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
 概 要: 世界中からデザイン・アート・ファッション・食・テクノロジーなどのクリエイティブ産業が一堂に会する「DESIGNART 2017」を、青山・神宮前・渋谷・代官山・六本木の5地点を中心に東京23区内で開催。オリンピック・パラリンピック大会に向けて、東京の持つクリエイティブなポテンシャルを世界中から訪れる旅行客に提供するために、多言語対応の東京クリエイティブマップおよびマップツールの開発を行い、東京内の回遊性を高める実証実験を行う。
- 
- ⑨ 実施団体: 株式会社妹島和世建築設計事務所  
 プロジェクト名: サステイナブル・リビング「犬島スタイル」  
 実施時期: 2017年8月～2018年1月15日  
 場 所: 岡山市犬島  
 プロジェクトタイプ: バリアフリー対応  
 概 要: アートの島として国内外からの注目を年々集めている瀬戸内海に位置する犬島の「あるものを活かすこと」という暮らしを、次世代に残すべきレガシーとして国内外に普及・発信することで、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた機運醸成につなげる。また、観客誘致を促すため、大学やアーティストを交えたワークショップを中心に島内バリアフリー化などの計画を実施する。
- 
- ⑩ 実施団体: 特定非営利活動法人グランド12  
 プロジェクト名: マンガ・アニメ・ポップカルチャーの祭典「くまフェス」  
 実施時期: 2017年12月2日～3日  
 場 所: 熊本城二の丸公園(メイン会場)  
 中心市街地一帯  
 プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
 概 要: マンガ・アニメ・ポップカルチャーの祭典「くまフェス」を開催。声優トーク&ライブステージ・FM791公開生放送や出版社主催 漫画家サイン会・物販など多彩なイベントを実施。多言語に対応するパンフレット作成、行政を通じ、タイ・台湾・上海・韓国向けにイベント告知や出演者のリサーチ・依頼。クールジャパンとして世界が注目する日本のマンガ・アニメコンテンツを活用し、東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、各地域が特色を出して魅力を発信するという課題に取り組む。
- 

- ⑪ 実施団体: 株式会社PechaKucha  
プロジェクト名: PechaKucha Japan Huddle 2017  
実施時期: 2017年11月下旬・2日間  
場 所: 東京  
プロジェクトタイプ: 多言語対応



概 要: クリエーターが20枚のスライドを20秒ずつ話すプレゼンテーション形式のPechaKucha イベントを開催。同時通訳で会場の観客へ発信。後日、PechaKucha公式グローバルwebサイトやiOSアプリにて公開。海外の視聴者に対して英語字幕つきでアップロードを行う。二日間で500人規模の国内外の観客を動員して各都市の文化や魅力を紹介し、東京と各都市を2020年に向けて盛り上げ、運営体制の課題にも取り組む。

#### [分野: 美術・写真]

- ⑫ 実施団体: 公益財団法人日本財団  
パラリンピックサポートセンター  
プロジェクト名: 「GO」プロジェクト  
～インクルーシブ社会へ向けた、パラアスリート  
×ファッション・アート企画～  
実施時期: 2017年10月～2018年1月  
場 所: 東京、大阪、山口等(予定)  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
概 要:

パラスポーツと未来を繋ぎ動かす  
グラフィックマガジン  
**GO**  
2017.10



フォトグラファー・蜷川実花氏とのコラボ企画であるファッション・アーティスト×パラスポーツを写真で紹介する。日本文化の発信拠点となる場所でフォトグラファー×パラアスリート等の写真パネルなどの展示を行い、開催期間中に「GO」プロジェクトに参画したフォトグラファー、パラアスリート等による公開トークイベントを開催。移動企画展を他のイベントや地域で開催。2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会成功とその先のインクルーシブ社会実現のため、障がいやスポーツに興味・関心のない「潜在層」へ如何にリーチするか、という課題に取り組む。

[分野:生活文化]

- ⑬ 実施団体: 株式会社KADOKAWA  
プロジェクト名: みんなで“beyond2020”に参加しよう！  
「フレフレ 2020」動画プロジェクト  
実施時期: 2017年8月（作品募集）～  
2017年12月（結果発表・結果発表イベント）  
場 所: コンテスト:オンライン／上映イベント:東京都／  
投稿サポート活動:全国  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
概 要: 特設サイト上で、皆がいま夢中になっていること世の中に広めたいことを撮影した映像を募集。子どもたちや障がい者の創作活動発表の場として動画投稿を活用。撮影・投稿のサポート活動を実施。海外に向けてWEB、SNS等を使って広く発信。外国公館・留学生等も活用して外国人の投稿を拡大。2020年に向けての応援ムーブメントを醸成していく。



- ⑭ 実施団体: 株式会社 テレビ東京  
プロジェクト名: 世界を繋ぐ！盆栽 BONSAI meets the World  
実施時期: 2017年8月～2018年1月  
場 所: 東京  
プロジェクトタイプ: 多言語対応  
概 要: 東京にて「五感で楽しむ」体験型盆栽イベント「BONSAI meets the World」を開催。外国人旅行者、ブロガーやメディア関係者などを集め、盆栽師:平尾成志氏によるパフォーマンスをDJの音楽と併せて披露。「観て」「聴いて」楽しみ、来場者がコケ張りを体験する「触れる」コーナーを平尾氏本人の英語解説と多言語音声ガイドンスにて実施。全国から選りすぐりの和食と銘酒も提供し、味覚と嗅覚も満足するイベントとする。密着ドキュメンタリーも制作・放映(予定)。2020年に向けた機運熟成に寄与する。



[分野:地域文化発信]

- ⑮ 実施団体: 公益社団法人全日本郷土芸能協会  
プロジェクト名: 獅子よ集まれ！東北宮城へ～2017東北の被災地から2020東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～  
実施時期: 2017年9月2日～9月3日  
場 所: 宮城県牡鹿郡女川町  
女川駅前広場および女川町内の被災地域  
プロジェクトタイプ: 多言語対応  
概 要: 在日外国人モニターを招待した被災体験者の語り部ツアーを通して、被災地の現状と震災において郷土芸能が果たした役割を、SNSやYoutubeなどを活用して世界へ多言語発信する。また、東日本大震災の被災地である岩手・宮城・福島  
の3県で復活した郷土芸能「獅子舞」の公演を、被災した郷土芸能団体が演じることで、地域の振興を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を地方から盛り上げる。



- ⑯ 実施団体: しら・はぐフェスティバル実行委員会  
プロジェクト名: “湯のまち白浜”文化の祭典  
「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」  
実施時期: 2017年10月21日～22日  
場 所: 和歌山県白浜町  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
概 要: “湯のまち白浜”文化の祭典「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」(10/21(土)～22(日))を開催。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を見据え、インバウンド事業のほか国内外の観光客をターゲットとした地域の伝統・文化・福祉を発信するとともに、既存観光イベントや他市町との交流事業を展開し、障がい者への理解促進、訪日外国人の受け入れ体制づくりを図る。



- ⑰ 実施団体: 犬山祭企画委員会  
プロジェクト名: 犬山からくり町巡り  
実施時期: 2017年10月28日～29日  
場 所: 犬山城下一円(愛知県犬山市)  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応  
概 要: 犬山城下町一円における「からくり町巡り」の開催。観客が町を巡りながら各種のからくり実演観賞や絡繰り体験(通訳によるガイドンス、障害者は付添者とともに参加)・在住外国人の無料招待ツアーを行い、犬山のからくり文化を国内外へ情報発信し、地域間の文化交流の促進と外国人・障害者・高齢者を含む観光客の誘致を行うことにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会への関心を高め、同時に地域経済の活性化を図る。



- ⑱ 実施団体: 公益社団法人 びわ湖大津観光協会  
プロジェクト名: 大津京遷都1350年を機とした  
文化の観光産業化事業  
実施時期: 2017年10月下旬～12月中旬  
場 所: 滋賀県大津市(石山寺、三井寺、日吉大社)  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応



概 要: 本年度より東京オリンピック・パラリンピックを見据え、世界遺産・日本遺産を含む大津市内十社寺を国内外の情報発信拠点とするため、十社寺で文化イベントを順次開催。本試行では、三井寺でクラシック音楽イベント・石山寺で現代アート展覧会・日吉大社でライトアップイベントを行う。特設ホームページを設営してプロジェクトを広くPR、バリアフリーのイベントとして市内施設にも参加を呼びかけ、大会への関心を高め・盛り上げる意識を地域で向上させる。

- ⑲ 実施団体: 世界エイサー大会実行委員会  
プロジェクト名: 世界エイサー大会2017  
World Wide Eisa Festival 2017  
実施時期: 2017年11月4日～5日  
場 所: 沖縄県(国立劇場おきなわ)  
プロジェクトタイプ: 多言語対応・バリアフリー対応



概 要: 世界エイサー大会の舞台上で障がい者の方々に演舞等をしてもらい、高齢者や障がい者でも踊れるエイサーの考案・紹介、国内外への大会生配信を行い、エイサーの魅力を発信し、多様な人々が交流できる場としていく。スポーツの祭典であると同時に文化の祭典である東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向け、沖縄県独自の伝統芸能であるエイサーを広く発信し、多様な文化を受容する日本の精神を示し、気運醸成に大きく寄与する。



[分野:障害者・バリアフリー]

- ⑳ 実施団体: 特定非営利活動法人  
全国地域生活支援ネットワーク
- プロジェクト名: 国際的な評価を受ける日本の障害者の優れた文化芸術を発信する全国巡回プロジェクト  
～見聞 2017 ジャパン×ナント プロジェクトの全貌～
- 実施時期: 2017年8月1日～2018年1月15日
- 場 所: 島根県、長崎県、埼玉県、東京都、北海道、愛知県、福岡県及び全国に広報周知
- プロジェクトタイプ: バリアフリー対応
- 概 要: 文化芸術創造都市として世界をリードするフランス・ナント市の文化施設が評価し、「2017ジャパン×ナント プロジェクト(2017年10月ナント市で開催)」にて発表される日本の障害者の優れた文化芸術(アール・ブリュット、舞台芸術等)を、日本全国8箇所を巡回することにより広く国民に周知するとともに、本事業を通して、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて障害者のバリアフリー対応を促進するなど、障害者がより活発に文化芸術活動を行う環境を醸成し次代に継承する。

